一般財団法人 経済調査会

2026年11月17日

積算資料 石油系資材ウォッチ 2026 12

《臨時速報》 原油価格上昇に伴う、建設資材への主な影響について

背景 中東情勢の悪化に伴い原油価格が上昇、その影響が一部の資材を直撃している。そのため、原油価格の動向が市況に影響する資材について、主なものを臨時速報する

留意点 資材単価のご利用に当たっては、**積算資料**最新号の価格情報をご参考ください

(東京地区)

ストアス、再び急騰！再生アスファルト混合物価格は強含み

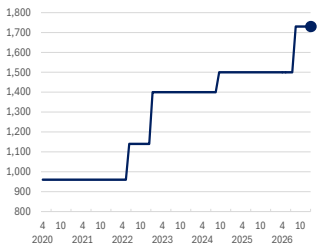
再生アスファルト混合物 市況

9月の都内向け製造量は10万9,167tと前年同月比27.1%減(東京アスファルト合材協会調べ)。大型工事が乏しいことに加えて、天候不順が続いたことから舗装工事が進まず、大幅な出荷減となった。

価格は、再生密粒度(13)でt当たり1万3,100円と前月比変わらず。混合物の市況は春先、ストアス価格の高騰を背景に大幅上伸。その後は横ばいで推移してきたものの、11月に入り足元のストアス価格が再び急騰、販売側は製造コストの転嫁が急務として価格引き上げの交渉を開始した。需要者側は、工事が少ない中での要請には抵抗を示しつつも、原材料費の上昇による変動はやむを得ないとする向きが多い。先行き、強含みで推移しよう。

251 塗料 (JIS K 5551 C種1号･2号)

変性エポキシ樹脂系塗料 厚膜形 赤さび 円／kg



1,730

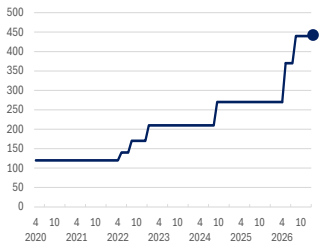
前月号比 ±0 0.0%

先行き

メーカー側の出荷は安定してきており、市況面でも動意薄。原料コスト高が続いているが、目先は横ばいの見通し。

256 塗料用シンナー

ミネラルスピリット 円／ℓ



440

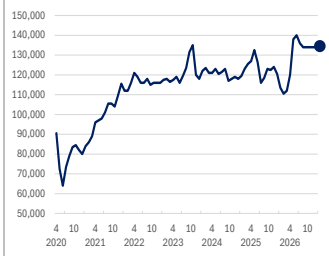
前月号比 ±0 0.0%

先行き

メーカー側の出荷は安定してきており、市況面でも動意薄。原料コスト高が続いているが、目先は横ばいの見通し。

259 軽油

ローリー 円／kℓ



134,000

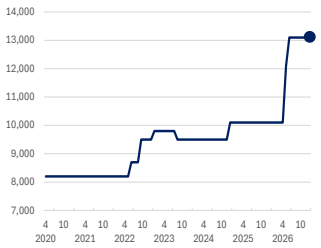
前月号比 ±0 0.0%

先行き

原油価格の変動が小さく市況は横ばいで推移した。補助金の段階的な縮小の公算が高まったことから販売業者は売り腰を強める姿勢。目先、強含み。

319 再生アスファルト混合物

密粒度13 ※上記、詳細市況参照 円／t



13,100

前月号比 ±0 0.0%

先行き

ストアス価格上昇を受けてメーカー各社は値上げ要求を開始。需要者側は、コスト上昇分は受け入れざるを得ないとした見方が多数。先行き強含み。

330 ストレートアスファルト

針入度60～80 ローリー 円／t



169,000

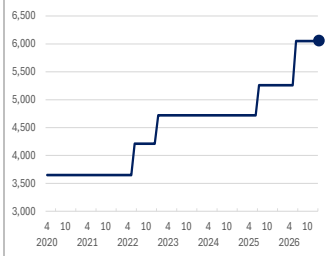
前月号比 +31,000 +22.5%

先行き

元売りメーカーは仕切り価格を値上げ。需要者側は価格引き上げを受け入れざるを得ず、市況上伸。

577 防水材アスファルトルーフィング

1500(JIS A 6005 準拠) 円／巻



6,050

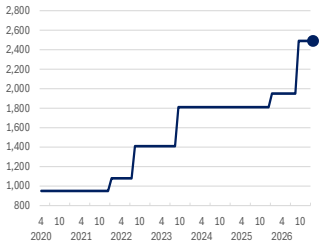
前月号比 ±0 0.0%

先行き

メーカー側の出荷は改善されており、仮需に伴う受注残はほぼ解消している。原料コスト高ではあるが、目先の市況としては横ばいの見通し。

578 建築用シーリング材

シリコーン系高モジュラス(JIS A 5758) 1成分形 円／ℓ



2,490

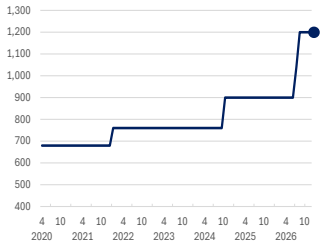
前月号比 ±0 0.0%

先行き

メーカー側の出荷は改善されており、供給不安は見られていない。市況面でも動きなく、当面は横ばいで推移する見通し。

629 押出法ポリスチレンフォーム断熱材

2種 厚20×幅910×長1820mm 円／枚



1,200

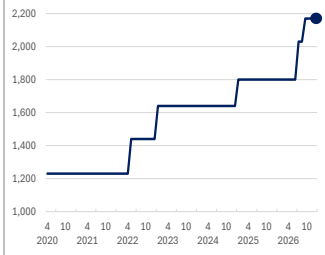
前月号比 ±0 0.0%

先行き

仮需による受注残はほぼ解消されている。原材料コストの上昇基調が続いているものの、当面の市況としては横ばいで推移する見通し。

814 硬質ポリ塩化ビニル管

一般管(VP)呼び径50mm 60×4.1mm×4m 円／本



2,170

前月号比 ±0 0.0%

先行き

供給制限の解除により流通は正常化したものの、荷動きは低調。販売側は現行価格の維持を最優先として、安値には応じない姿勢。先行き、横ばい。

※軽油については毎月上旬･中旬･下旬発刊「デジタル物価版」で価格情報を速報しています

お問い合わせ先 一般財団法人経済調査会 土木第一部

TEL:03－5777－8215 https://www.zai-keicho.or.jp

©2026 一般財団法人 経済調査会